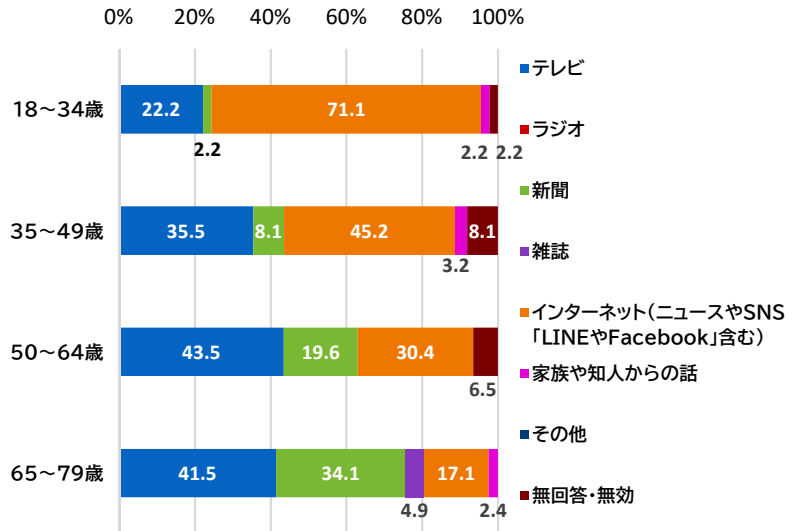
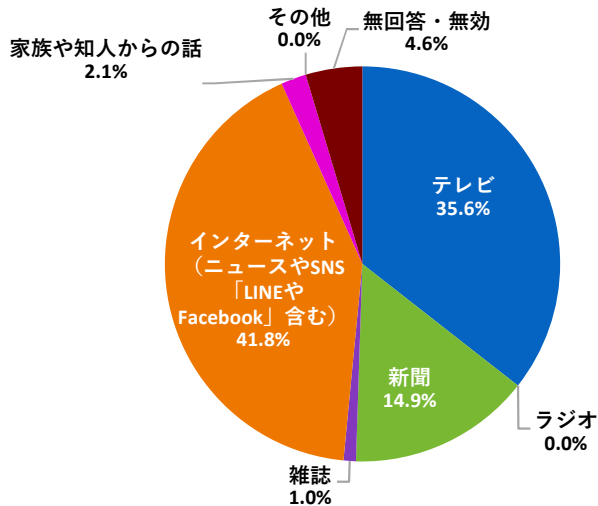


2 選挙について

(浜松市選挙管理委員会事務局)

問1 選挙のときに政治や選挙に関する情報を主に何から得ているか

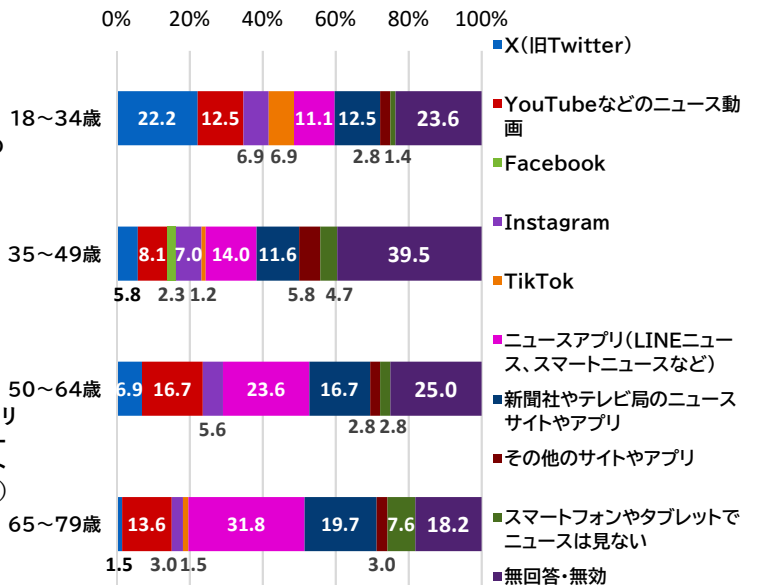
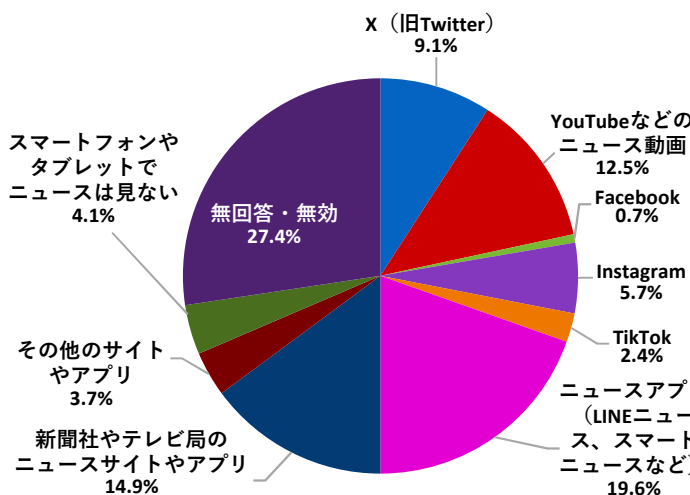
(n=194)



- 政治や選挙に関する情報の取得手段について「インターネット(ニュースやSNS「LINEやFacebook」含む)」が最も多く、約40%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳、35～49歳では「インターネット(ニュースやSNS「LINEやFacebook」含む)」が、50～64歳、65～79歳では「テレビ」が最も多い回答となっています。

問2 政治や社会のニュースをスマートフォンやタブレットで見るとき、どのサイトやアプリをよく利用するか

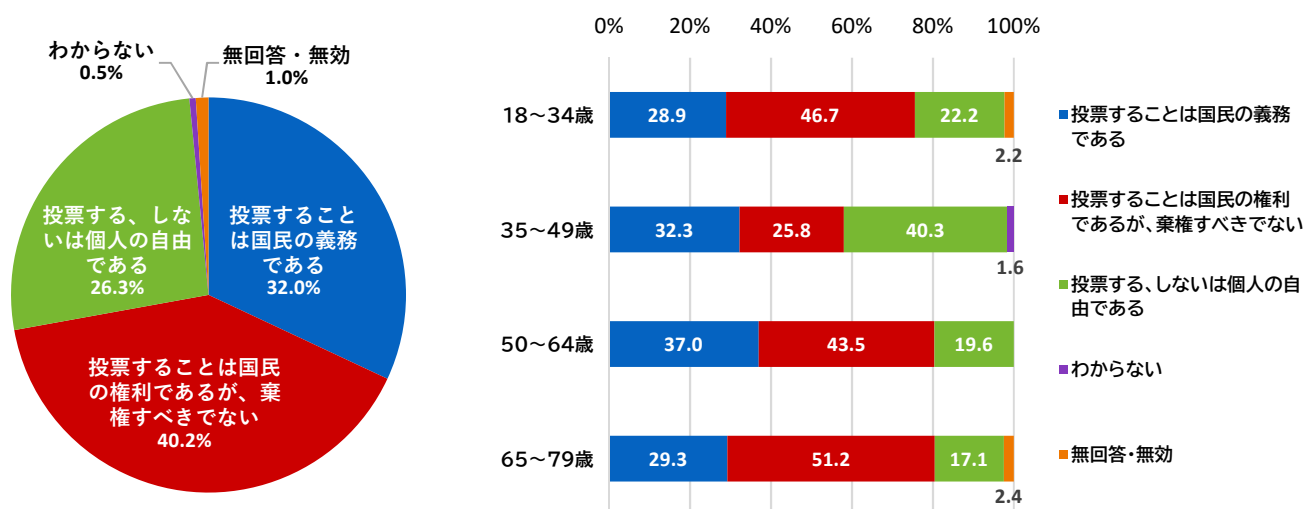
(n=194 2つ選択)



- よく利用するサイトやアプリについて「ニュースアプリ(LINEニュース、スマートニュースなど)」が最も多く、約20%となっています。
- その他の回答では「Yahooニュース」と答えた方が複数います。
- 世代別にみると、18～34歳では「X(旧Twitter)」が最も多く、その他の世代では「ニュースアプリ(LINEニュース、スマートニュースなど)」が最も多い回答となっています。

■ 問3 選挙の投票について、どの考えが近いのか

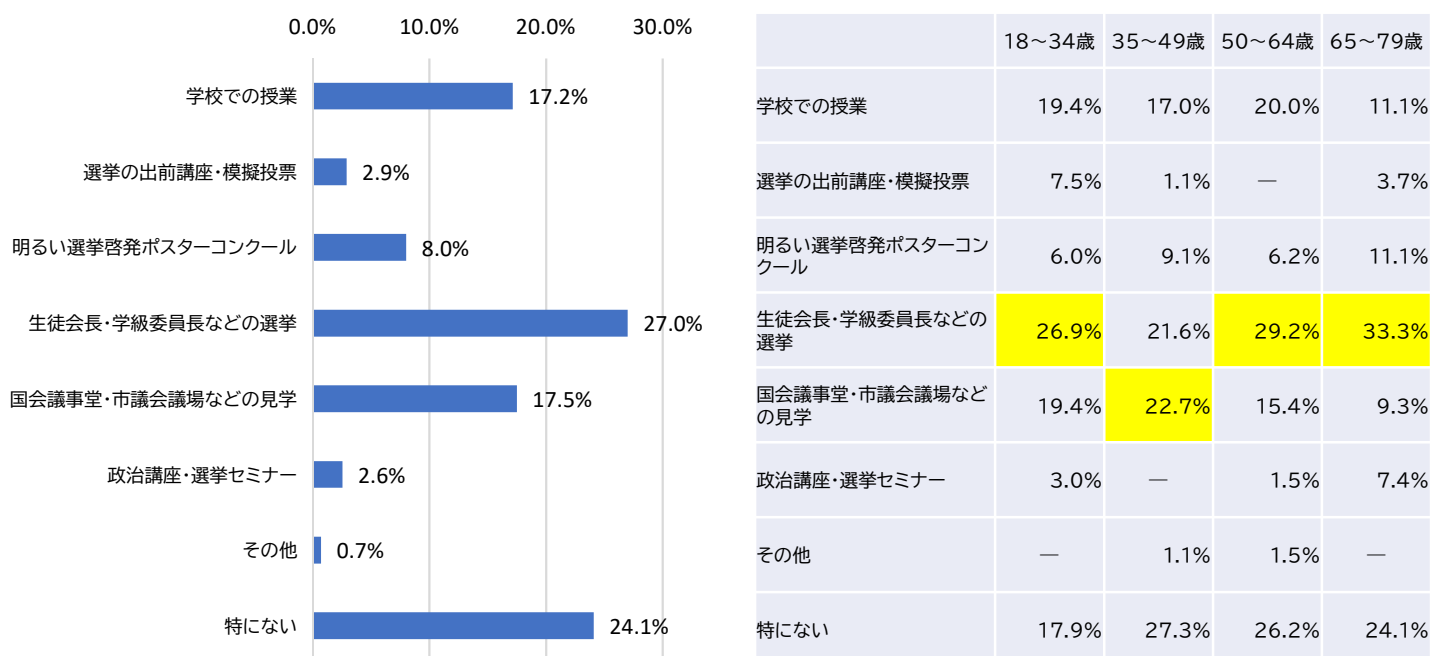
(n = 194)



- 選挙の投票について「投票することは国民の権利であるが、棄権すべきでない」が最も多く、約40%となっています。
- 世代別にみると、35～49歳は「投票する、しないは個人の自由である」が多く、その他の世代では「投票することは国民の権利であるが、棄権すべきでない」が最も多い回答となっています。

■ 問4 選挙に関する教育や授業で、印象に残っているものはなにか

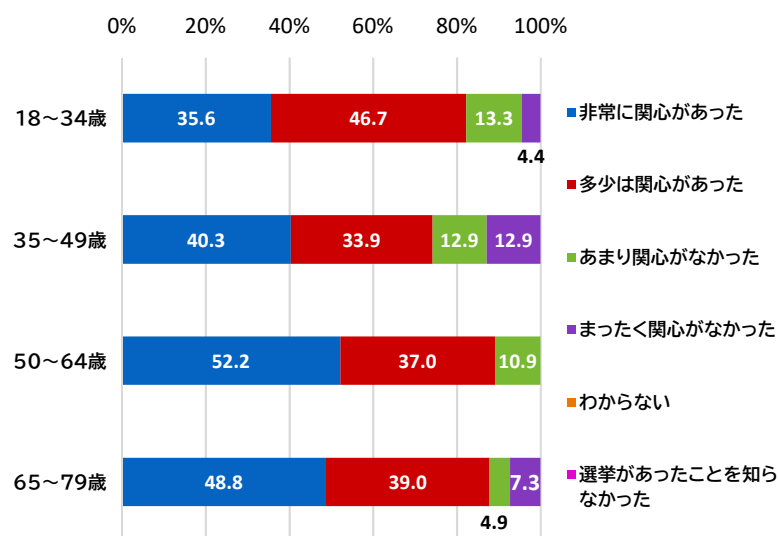
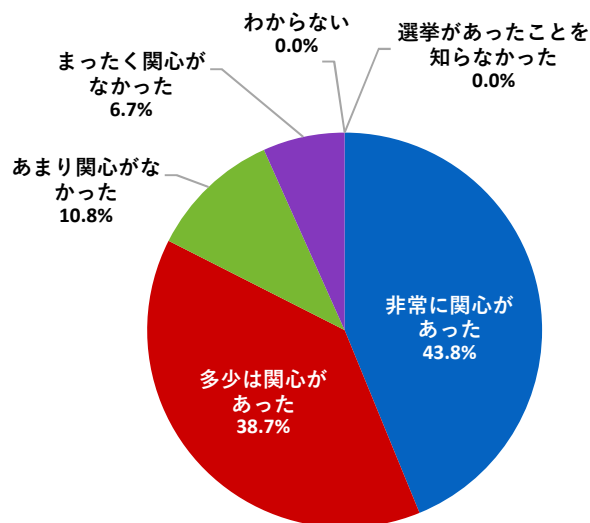
(n = 194 複数回答)



- 選挙に関する教育や授業で、印象に残っているものは「生徒会長・学級委員長などの選挙」「特にない」が多くなっています。
- 世代別にみると、35～49歳では「国会議事堂・市議会議場などの見学」が最も多く、その他の世代では「生徒会長・学級委員長などの選挙」が最も多い回答となっています。

■ 問5 7月20日に行われた参議院議員通常選挙について、どのくらい関心があったか

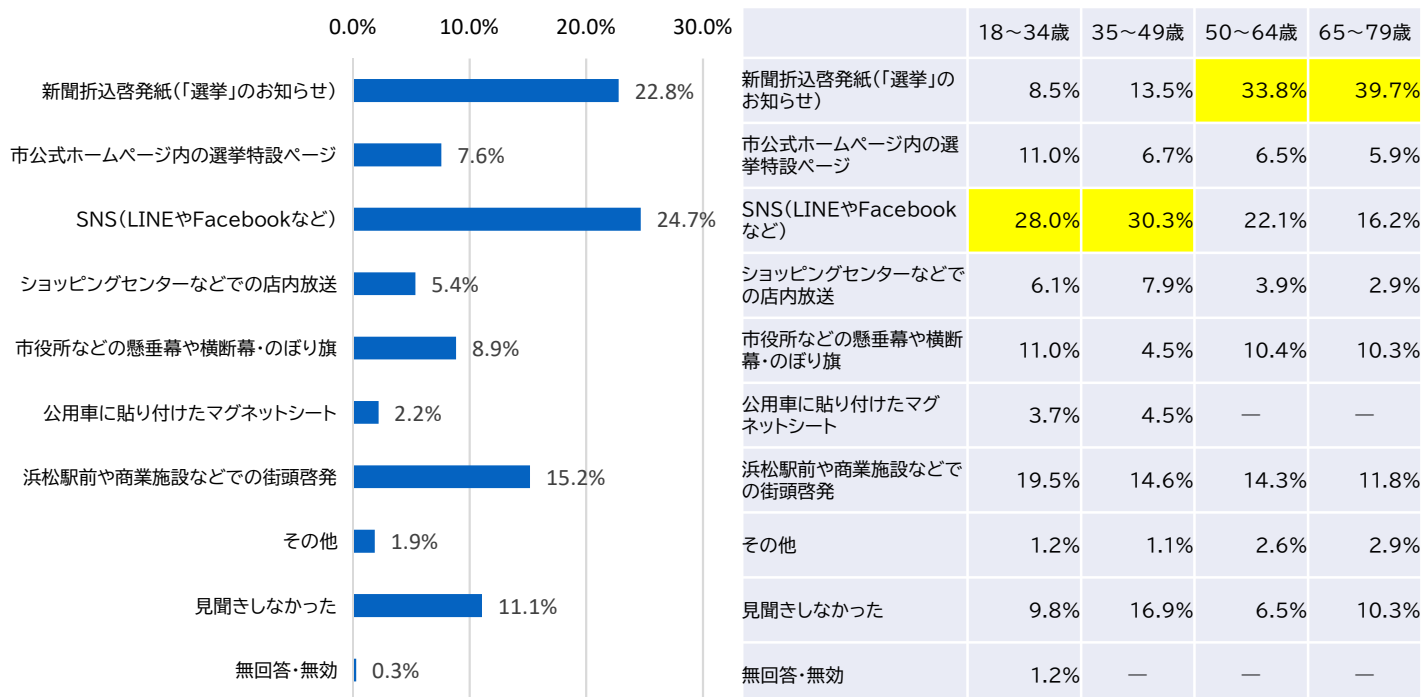
(n = 194)



- 参議院銀通常選挙の関心について「非常に関心があった」「多少は関心があった」が多く、合わせて約80%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳は「多少は関心があった」が最も多く、その他の世代では「非常に関心があった」が最も多い回答となっています。

■ 問6 7月20日に行われた参議院議員通常選挙で投票を呼びかける啓発活動のうち、見たり聞いたりしたものがあるか

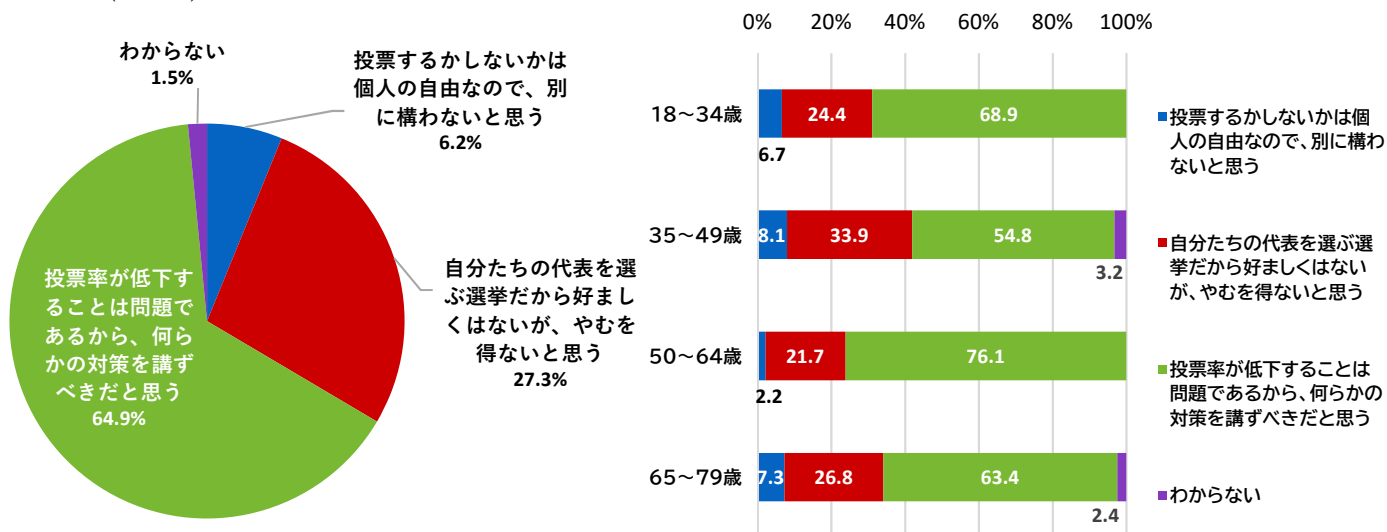
(n = 194 複数回答)



- 参議院議員通常選挙の啓発活動で見聞きしたものについて「SNS (LINEやFacebookなど)」が最も多く、約25%となっています。
- その他の回答では「テレビ」「ニュースアプリ」「職場」と答えた方がいます。
- 世代別にみると、18～34歳、35～49歳では「SNS (LINEやFacebookなど)」が最も多く、50～64歳、65～79歳では「新聞折込啓発紙(「選挙」のお知らせ)」が最も多い回答となっています。

■ 問7 近年の選挙では投票率が低下傾向にあるが、このことについてどのように考えるか

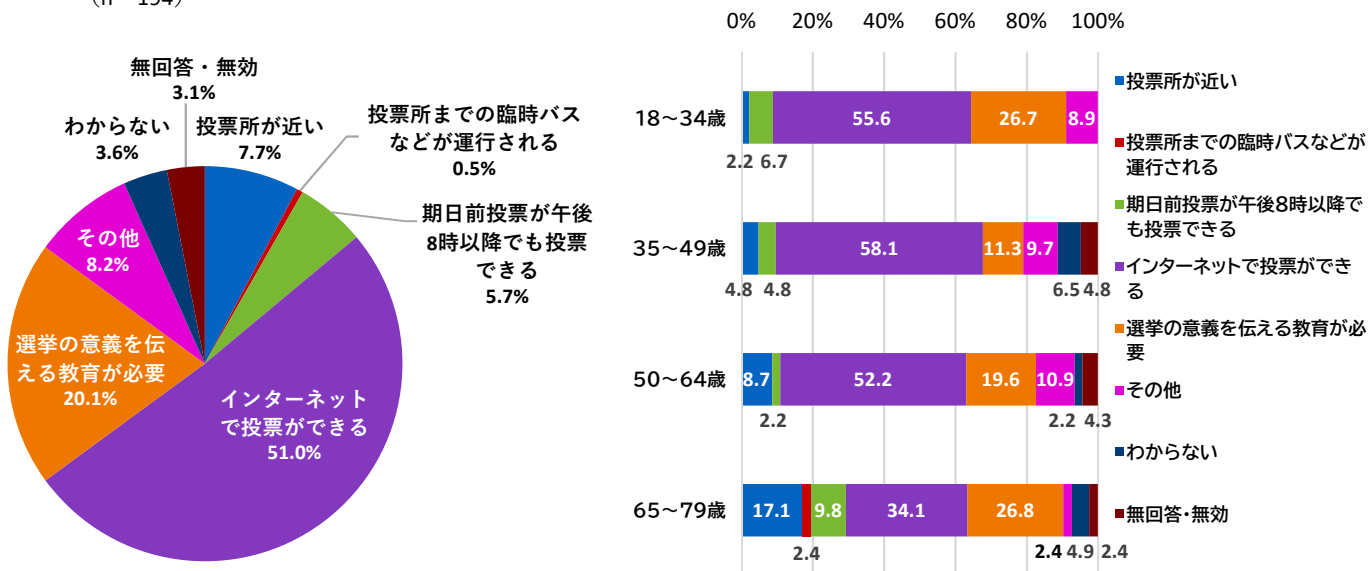
(n = 194)



- 投票率の低下傾向について「投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講ずべきだと思う」が最も多く、約65%となっています。
- 世代別にみると、全世代において「投票率が低下することは問題であるから、何らかの対策を講ずべきだと思う」が最も多い回答となっています。

■ 問8 投票率を上げるために、どのような条件が整うとより効果的か

(n = 194)



- 投票率を上げるための条件について「インターネットで投票ができる」が最も多く、約50%となっています。
- その他の回答では「住んでいる区以外でも投票可能にする」「投票した人に割引券を渡す」と答えた方がいます。
- 世代別にみると、全世代において「インターネットで投票ができる」の次に「選挙の意義を伝える教育が必要」が多い回答となっています。